

# 国家戦略レビュー2022

## (2022年11月9日)

※機械翻訳等を用いた仮訳

### ● 1

2022年11月9日(水)、トゥーロンを訪問した大統領は、「国家戦略レビュー(NSR)」を発表した。この文書は、国内外の防衛・安全保障環境を概観し、フランスが今後数年間に直面する戦略、作戦、能力の課題を明らかにするものである。

### ● 2

ウクライナへの侵攻、戦略的競争の激化、戦略的競争における核の復活及び非軍事的行動の増加などは、欧州の戦略的自立、同盟、新たなパートナーシップの枠組みの中で、国防手段の深化を考える必要性を示す事実上の要素である。強烈度紛争リスクとハイブリッド戦略を考慮した場合、特に私たちのレジリエンスを高めるための指針となる。

### ● 3

このように、国家戦略レビュー2022は、バランスング・パワーとしての役割を確保し、自国の国益と安全を保証するために、フランスが設定した10の戦略的目標を提示している。

**フランス語版** [リンク](#)

**英語版** [リンク](#)

#### 【参考1】10の戦略的目標

- ① 強固(robuste)かつ信頼できる核抑止力
- ② 団結しレジリエンスのあるフランス
- ③ 防衛の精神(l'esprit de defense)に沿った経済
- ④ トップレベルのサイバー・レジリエンス
- ⑤ 欧州・大西洋地域における模範的同盟国であるフランス
- ⑥ 欧州の戦略的自律の原動力の一つであるフランス
- ⑦ 信頼できる主権のパートナー及び信用できる安全保障の提供者であるフランス

- ⑧ 保証された判断の自律性及び意思決定の主権
- ⑨ ハイブリッド領域において身を守り行動できる能力
- ⑩ すべての領域（複数の環境及び複数の領域）における行動の自由及び高烈度を含む軍事作戦を遂行する能力

## 【参考2】ロシア及び中国への主な言及

### ● 1

ロシアとは潜在的競合（compétition latente）から公然の対立（confrontation ouverte）へ移行 [第15項]

### ● 2

中国とはより悪化した競合（compétition exacerbée）の関係へ移行 [第15項]